

令和5年度比治山大学心理相談セミナー(講演)

「心理臨床家がプロフェッショナルとして生き抜くために必要なこと」

主催：比治山大学大学院現代文化研究科附属心理相談センター

ご案内

本セミナーは、公認心理師・臨床心理士など対人援助専門職の方々とともに、地域が抱えるこころの問題を心理学的に理解し、問題の解決に資することをめざしています。本年度は心理相談センター設立20周年を記念して、元センター長である兒玉憲一先生に講演をお願いすることになりました。

兒玉先生は半世紀にわたり、広島での心理臨床家の第1世代として、病院臨床、学生相談、地域援助等の活動を続けてこられ、同時に、公認心理師・臨床心理士の養成にも長く関わってこられました。それらのご経験をもとに、専門職として生き抜くために必要なことについてお話しいたします。学部生・大学院生や初心の心理士はもちろん、大学や現場で後輩を育てる立場に立つ心理士にとっても、何を大事にすべきかについて考え、理解を深める機会になれば幸いです。

開催日時：令和5年11月26日(日) 10:00~12:00

会場：比治山大学3号館4階 03412 講義室 (広島市東区牛田新町4丁目1-1)

プログラム

講演 10:00~12:00 (9:30 受付開始)

『心理臨床家がプロフェッショナルとして生き抜くために必要なこと ——私の心理臨床50年を支え続けたもの——』

講師 兒玉 憲一 先生 (プロフィール参照)

司会 一元 禎紀 (比治山大学現代文化学部教授)

対象：臨床心理士、公認心理師、臨床心理士養成大学院の院生など。

(先着100名までとさせていただきます)。

参加費：臨床心理士等 1,000円 学部生・院生 500円

※ 本セミナーは2時間の講演のため、臨床心理士継続研修のポイントにはなりません。



講師プロフィール

兒玉 憲一 (こだま けんいち) 先生：広島大学名誉教授、臨床心理士で、当センターの元センター長。広島大学大学院で学び、広島市民病院神経科などで臨床経験を積み、広島大学保健管理センター、広島大学大学院教育学研究科、比治山大学の教授を歴任。HIV感染者やがん患者、犯罪被害者の支援など臨床心理学的な地域援助にも取り組まれた。

申込方法

○FAX かメールで、①参加者氏名(ふりがな)、②所属先の名称、③職名(例:公認心理師、臨床心理士、教員、学部生、院生など)、④参加希望とお書きください、⑤臨床心理士の方は登録番号を必ず書き添えて「比治山大学心理相談セミナー」係までお送りください。

参加費振込: 銀行振込 広島銀行 白島支店 普通預金 601144 がっこうほうじんひじやまがくえん 学校法人比治山学園

※振込手数料はご負担願います。振込者名は各自、参加者ご本人の名前でお振込みください。
納入いただきました参加費は返金いたしかねます。

申込・振込期限: 令和5年11月20日(月)

アクセス:

- ・バス【牛田新町4丁目下車 徒歩7分】
- ・アストラムライン【不動院前(比治山大学前)下車 徒歩10分】
- ・タクシー【広島駅・バスセンター・八丁堀から約10分】

※学内駐車場はございませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



※参加申し込みにより受付とします。参加受付のご連絡はいたしませんのでご了承ください。

申込・問い合わせ先: 比治山大学大学院現代文化研究科附属心理相談センター
〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1 (担当: 道岡)
TEL・FAX 082-229-8630 (直通) E-mail cocoro@hijiyama-u.ac.jp